

第 1 回	<p>オリエンテーション</p> <p>公衆衛生看護活動における「平等と公平」</p> <p>主要な健康課題と生涯を通じた健康づくり</p> <p>担当：布花原明子</p>
第 2 回	<p><成人保健活動①></p> <p>主な健康課題とポピュレーションアプローチを用いた公衆衛生看護活動</p> <p>担当：布花原明子</p>
第 3 回	<p><成人保健活動②></p> <p>主な健康課題とハイリスクアプローチを用いた公衆衛生看護活動</p> <p>担当：布花原明子</p>
第 4 回	<p><母子保健活動①></p> <p>主な健康課題と母子保健体系および法制度</p> <p>切れ目のない母子保健活動に向けた体制づくり</p> <p>担当：布花原明子</p>
第 5 回	<p><母子保健活動②></p> <p>こどもの虐待予防・防止の対策と公衆衛生看護活動</p> <p>担当：布花原明子</p>
第 6 回	<p><高齢者保健活動①></p> <p>健康寿命の延伸と高齢者の健康課題</p> <p>課題解決のための高齢者保健対策及び法制度</p> <p>担当：布花原明子</p>
第 7 回	<p><高齢者保健福祉活動②></p> <p>地域の主要な健康課題（フレイル、認知症）と公衆衛生看護活動</p> <p>担当：布花原明子</p>
第 8 回	<p>小テスト</p> <p>ライフステージの対象特性と公衆衛生看護活動</p> <p>担当：布花原明子</p>
第 9 回	<p><健康課題①感染症保健医療活動></p> <p>感染症の動向と法制度に基づく対策</p> <p>感染症の流行及び発生時の公衆衛生看護活動</p> <p>担当：布花原明子</p>
第 10 回	<p><健康課題②感染症保健医療活動></p> <p>再興感染症（結核）の疾病管理</p> <p>担当：布花原明子</p>
第 11 回	<p><精神障害者保健医療福祉活動></p> <p>地域に暮らす精神疾患をもつ対象（家族含む）への公衆衛生看護活動</p> <p>担当：布花原明子</p>
第 12 回	<p><精神保健活動></p> <p>ライフステージにおける心の健康づくり対策と公衆衛生看護活動</p> <p>担当：布花原明子</p>

第 13 回	<p><障がい者保健医療福祉活動></p> <p>障がい者保健の理念</p> <p>障がい者への支援制度及び公衆衛生看護活動</p> <p>担当：布花原明子</p>
第 14 回	<p><難病保健活動></p> <p>難病を抱える人々の療養生活を支える法制度</p> <p>難病患者への支援と地域ケアシステムの構築</p> <p>担当：布花原明子</p>
第 15 回	<p>保健師活動指針の視点からライフステージ・健康課題別の公衆衛生看護活動を展望する</p> <p>担当：布花原明子</p>
テキスト	<p>標準保健師講座3 対象別公衆衛生看護活動（医学書院）</p> <p>公衆衛生がみえる 2024-2025 *1 年生「公衆衛生学」テキスト</p>
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	<p>保健師ジャーナル（医学書院）</p> <p>国民衛生の動向（厚生統計協会）</p> <p>保健師業務要覧（日本看護協会出版会）</p>
課題に対するフィードバックの方法	<p>課題は、第 14 回授業終了後に作成したファイルを提出して下さい。ファイル返却時に評価結果を返却します。</p>
学生へのメッセージ・コメント	<p>この授業では、公衆衛生看護学概論で学んだ、個/家族、集団（組織）、地域を対象とした公衆衛生看護活動の展開を、保健師の活動分野に沿って具体的に学びます。関連する科目は、1 年次「社会保障概説」、「保健統計学」、「健康教育論」、「感染と免疫」、2 年次で履修する小児、母性、成人、老年、精神看護学の科目です。知識を関連づけて理解を深めていきましょう。</p> <p>また、予習及び復習の課題は、第 1 回授業時に全回分を提示します。他の授業課題と両立させて計画的に取り組んで下さい。</p> <p>そして、保健師ジャーナルには各授業のテーマに関する実践活動が紹介されています。興味のあるテーマは、積極的にテキスト以外の文献を検索し読んでみられることを期待します。</p>

